

未来のために
今はじめよう！
気候変動の影響への



「適応」



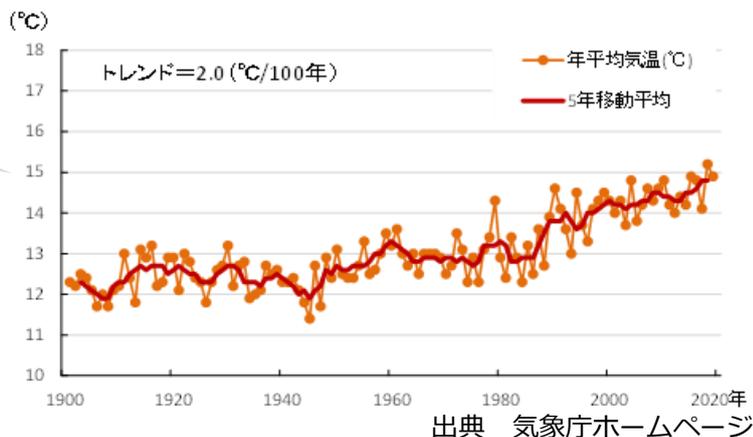
近年、地球温暖化の進行が原因といわれる気候変動による影響が各地で深刻化しており、宇都宮市においても、市民生活に大きな影響を及ぼしています。

みなさんのなかにも、昔よりも今のほうが暑くなっていたり、短時間で降る大雨や台風の影響が増えてきたと感じているかたが少なくないのではないのでしょうか。

宇都宮市の年平均気温は、
100年あたりで約2.0℃上昇



真夏日や熱帯夜が増えた・・・



高温や降水量の変化による
農作物への影響・・・



短時間で降る大雨や台風が増えた・・・



こうした気候変動による影響は、今後もさまざまなところで顕在化すると考えられ、さらに、これからもっと、ひどくなっていくかもしれないのです・・・

では、どうしたらいいのでしょうか？



その答えのひとつが、
気候変動の影響への「**適応**」です。

「適応」とは、気候変動の影響にあらかじめ備え、社会の仕組みや、一人ひとりの生活のあり方を変えることなどを言います。



気象災害から暮らしを守るための適応

大雨による河川や下水道の氾濫，それにより生じる浸水被害を防ぐためのインフラ整備や，いざという時に安全に避難するための警戒避難体制の強化をすることも，被害を減らすための「**適応**」です。

私たち一人ひとりが天気予報や防災アプリ，ハザードマップや避難経路を確認し，気象災害に備え身を守る準備をすることも大切です。



雨水貯留設備

ハザードマップの確認



健康を守るための適応

気温の上昇により，熱中症のリスクが高まっています。帽子や日傘で日射しを遮ったり，こまめに水分・塩分補給をすること，エアコンを上手に利用するなど，一人ひとりが自身の健康を守るために行動することも立派な「**適応**」です。



帽子や日傘
エアコンの活用

水分・塩分補給



食を守るための適応

気温の上昇や強い日射，降水量の変化等により，お米や野菜，果物などの農産物に品質低下という影響が出ています。お米であれば高温に強い品種に変えたり，作付け時期を調整したり，野菜や果物であれば日よけで強い陽射しから守ることなどが影響への対策，「**適応**」といえます。



日よけの設置

高温に強い品種の開発

緩和

「2つの気候変動対策」どちらも欠かせません

適応

気候変動への対策には，地球温暖化の原因そのものである温室効果ガスの排出を抑制する「**緩和策**」と，すでに起こりつつある地球温暖化（気候変動）の影響に対して，自然や社会のあり方を調整する「**適応策**」の2つがあります。どちらの努力も続けることが大切です。

人間社会や自然の生態系が危機に陥らないためには，実効性の高い温室効果ガス排出削減の取組を行っていく必要があります。温室効果ガスの排出抑制に向けた努力が**緩和策**です。

緩和とは？ 適応とは？



緩和を実施しても温暖化の影響がさけられない場合，その影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことが，**適応策**です。

1人ひとりが気候変動問題について理解を深め，行動していくことは未来の世代の人たちのためにもとっても重要なんだね！

「緩和」と「適応」は車の両輪！
2つとも続けることが大切です

